

みんな
“オスプレイ” だぜえ。オスプレイ、
そのあまりの墜落事故の多さから米兵からは
「空飛ぶ棺おけ」「未亡人製造機」

なんて呼ばれてるぜえ。
米国タイム誌には
「空飛ぶ恥」なんて
呼ばれてるんだぜえ

ワイルドだろう!!

オスプレイこの前も
モロッコで事故を起こしたぜえ!!
米兵2人が死んだぜえ。まだ
事故の原因もわかってないのに
沖縄配備が決まったぜえ
ワイルドだろう!!



オスプレイ墜落する時は真っ逆さまに
急降下して、墜落する直前に
プロペラの羽を吹っ飛ば
すんだぜ!! 拳銃の果てには
大爆発だぜえ! 宜野湾の人の命
はどうなるかだぜえ!!
ワイルドだろう!!

こんど、
オスプレイ配備反対市民集会
こんなイベントがあるらしい
ぜ、でも沖縄のみんなは
やさしいから俺を受け入れて
くれるだろう!!

ふざけんな!

6/17 午後2時開演(雨天決行)
宜野湾海滨公園・屋外劇場

オスプレイ配備反対市民集会

「空飛ぶ恥」オスプレイ

WEST COAST BASING OF THE MV-22
Final Environmental Impact Statement の表紙より

WEST COAST BASING OF THE MV-22
Final Environmental Impact Statement の表紙より

WEST COAST BASING OF THE MV-22
Final Environmental Impact Statement の表紙より

WEST COAST BASING OF THE MV-22
Final Environmental Impact Statement の表紙より

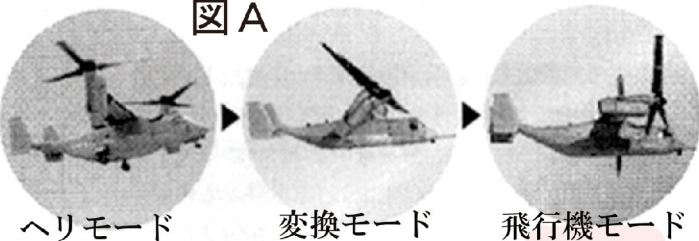
WEST COAST BASING OF THE MV-22
Final Environmental Impact Statement の表紙より

一番こわいのは、、、。

みなさんはオスプレイの事故の多さについてはよく耳にすると
思います。事故率の高さだけがオスプレイの怖さではないので、
このチラシではオスプレイのオートローテーションの問題を紹介
したいと思います。

オートローテーションの説明の前に、オスプレイの説明をし
たい。図Aで示す通りオスプレイは滑走路は必要ありません。
ヘリモードで離陸し、空中でプロペラを前方に向けて飛行機モ
ードにして早く遠くまで飛べる。しかし、オスプレイは飛行機モ
ードでは着陸できない。何故か？それは図Bが示すとおりプロペ
ラが滑走路にぶつかってしまうからです。オスプレイは理想の
航空機ということですが、機体が重かったり、いろいろ無理あっ
てうまくいかないというのが現状です。

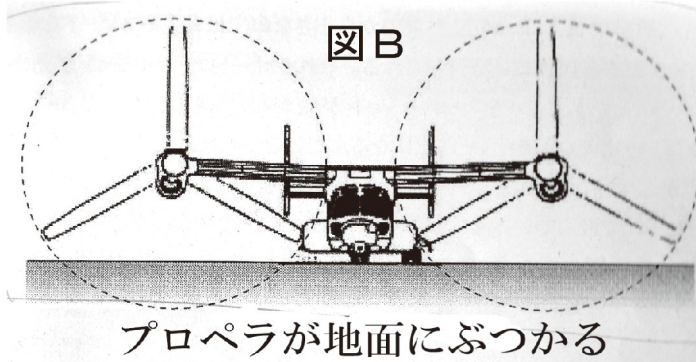
図A



一番危ないオートローテーションの問題

オートローテーションとは、ヘリコプターのエンジンが止まっ
て、機体が降下する際の下から上に吹く風で、エンジンが止まっ
ていてもプロペラが回り比較的ソフトに着陸ができるというもの
です。これはヘリコプターのとても基本的な機能です。たとえる
なら、スカイダイビングの時に人間がつけるパラシュートのような
ものです。

図B



プロペラが地面にぶつかる

オスプレイは安全にオートローテーションで着陸することがで
きない。それはオスプレイのプロペラが小さいことにある。図A
で示したようにオスプレイは飛行中に上に向けているプロペラを、
飛行機モードにするために前方にプロペラを向けなければならない。
その時プロペラが真ん中のオスプレイ本体を傷つけないため
プロペラの長さを制限しなければならない。一つもプロペラが付
いているのに、二つとも長さが足りないのだ。

オスプレイのメーカーであるボーイング社が出しているオスプ
レイのガイドブックの中に、オートローテーションのQ&Aが載っ
ている。

【作り話】オスプレイはオートローテーションが出来ないから安全
ではない。

【事実】オスプレイはティルトローター機で、エンジン停止の際の
緊急着陸にさいしてはオートローテーションに頼らない。2機のエ
ンジンが停止しての着陸はほとんどありえないが、必要とあれば
航空機モードで、ターボプロップ機のように滑空して着陸するこ
とができる。

メーカーさえもオートローテーションはできないと言ってる。
そしてもう一つ、米国防省のオスプレイのたった一回のオートロー
テーション試験です。

その結果は、、、

オスプレイのオートローテーション機能は「惨めな結果に終わっ
た」と評価し、「テストデータは、オスプレイは恐ろしい降下
率で地面にたたきつけられる」（2003年のレポート）と記述さ
れていた。蛇足だが、オスプレイのパイロット訓練ではオート
ローテーションは実機では訓練せず、シミュレーターでしか訓
練しないという。それは実機では危険すぎるということの裏返
しなのだろう。

あの大事故の4倍

2004年の沖縄国際大学のヘリCH53D墜落事故の時に、
事故機はオートローテーションの状態落ちてきた。あの大事
故による死者が出なかったのは奇跡に近いが、特にヘリの乗組
員の生命が助かった陰には、CH53Dヘリの落下速度を緩和
したオートローテーションの寄与があったことは確かだ。
オスプレイが、できないオートローテーションで「降って」来た
ら、下降スピードは事故機の2倍程度になることが予測される。
スピードが倍になれば、地上に激突したときの運動エネルギー
は4倍だ。乗組員だけでなく、周辺の住民に多大な被害が及ぶ
ことはまちがいない。（参考資料：オスプレイ普天間配備の危
険性 発行 リムピース）←すーごくわかりやすいです!!

オスプレイ配備反対市民集会

宜野湾海浜公園・屋外劇場

6/17 14:00

雨天決行